

| 質問No | 議席番号 | 質問者 | 質問事項 | 要旨 | 答弁者 | 答弁内容 | 担当課 | 議会名 |
|------|------|------|---------------|---|-----|---|-------|------|
| | 12 | 翁長 学 | 全国和牛能力共進会について | 今年9月、宮城県において5年に1度の和牛の品評会と言われる。全国和牛能力共進会が(仙台市)で行われる本町は過去に、沖縄県代表として、出品している。町としてこの大会をどうとらえているか。 町として関係団体に助成できないか。 | 町長 | 前回の長崎大会では、優秀な成績を収め、全国からも注目されており、役場担当・JA担当・大城獣医を中心に、9月の宮城県大会の上位入賞に向けて取り組んでおります。上位入賞すると全国的に久米島町の肉用牛が高い評価を受けると同時に畜産業界においての知名度も高くなっていきますので、畜産振興を図る上では大きな効果があると考えます。 関係団体への助成としては、今年度負担金として1,600千円予算計上しております。 | 産業振興課 | 2903 |
| | 12 | 翁長 学 | 陸上競技場の計画は | 沖縄県は、近年スポーツ合宿が各市町村で行われている。プロ野球、実業団学生等、本町も各団体を誘致する必要がある。そこで、陸上競技場が必要だと思うが、町の計画を伺いたい。 | 町長 | ご質問の件については現在、陸上競技場の整備について基礎調査を実施し、進めています。その報告書が本年度中にまとまりますので、議員の皆様への説明会を開く予定であります。 | 企画財政課 | 2903 |
| | 5 | 吉永 浩 | 感染症対策について | 今期も季節性インフルエンザが流行している。インフルエンザは予防接種で予防が可能である。そこで町長の見解を伺う。 ①子育て世代にとって、現在一人あたりの接種負担は大きい一世帯当たりの子どもの数が多い久米島町では、予防接種にかかる自己負担も大きくなるのは当然である。今後は、本町における子育て環境の充実の取組として一人あたり自己負担額の軽減策が必要と考えるが町長の考えを伺う。 | 町長 | 予防接種法に基づく集団予防の努力義務のある定期予防接種については、一部個人負担がありますが、次年度からは無料化の方向で調整しております。インフルエンザ予防接種については、現在高齢者に対する料金の一部助成は行っておりますが、対象範囲を広げることが可能なのか検討いたします。 | 福祉課 | 2903 |
| | 5 | 吉永 浩 | ふるさと納税について | ふるさと納税は、貴重な財源となると同時に、全国に特産品などをPRできるものである。そこで町長へ伺う。 ①久米島町における、ふるさと納税についての今後の計画は | 町長 | これまで各事業所や他市町村の取り組み方等、調査してきました。新年度からの取り組み方などについて2月に行政内部で「ふるさと納税推進ワーキンググループ」を立ち上げ、推進に向け、取り組んでいます。 | 企画財政課 | 2903 |
| | 5 | 吉永 浩 | 統括保健師の配置について | 技術職の分散配置となっている久米島町において、「人材育成」や「地域全体の健康課題を明確にして活動する」観点から、統括的な役割を持つ者配置が必要と考える。そこで町長の見解を伺う。 ①統括保健師を配置することで、組織横断的な取り組みが可能になると考える。平成30年度配置に向け平成29年度で体制準備していく考えはあるか。 | 町長 | 統括保健師の配置については、必要性はあると考えておりますが、現在、保健師の欠員が続いている状況にあり、当面は、欠員補充を優先するべきだと考えております。 | 福祉課 | 2903 |

| 質問No | 議席番号 | 質問者 | 質問事項 | 要旨 | 答弁者 | 答弁内容 | 担当課 | 議会名 |
|------|------|--------|--------------------|--|-----|---|-------|------|
| | 13 | 饒平名 智弘 | さとうきび振興について | <p>本町は年々高齢化が進み、さとうきびの生産が厳しい状況にあるにもかかわらず、機械化については、他の市町村と比較するとかなり遅れていると考える。</p> <p>①町長は刈取りや肥培管理の機械化を推進すると言っているがハーベスターでの刈取り実績が、とても少ないと思われるが町長の考えを伺いたい。</p> <p>②本町、本島、宮古、石垣、南北大東村のハーベスターの刈取り実績も教えてほしい。</p> <p>③土地が小さく機械化が進まない状況にあるのなら、土地の大区画もやる必要があるのではないか。</p> <p>④農家は除草剤や農薬、肥料の補助事業があり、大変助かっているが堆肥は、管理や散布が大変である。もっとコンパクトな堆肥があると聞えるが。</p> | 町長 | <p>①ハーベスターにつきましては、次年度の導入台数は新規で5台・台代で3台。株出管理機を新規で13セット導入する予定で進めております。導入後は機械収穫率が改善されると考えております。</p> <p>②機械収穫率は、県内平均が64.6%、久米島町35%、本島43.2%、JA伊是名67.3%、南大東村99.8%、北大東村100%、宮古島64%、石垣島78.5%となっております。</p> <p>③土地の大区画は、さとうきび農家の高齢化に伴い農地の集約化も今後必要と考えております。現在、農地中間管理機構の事業で農地を集積し、農業生産法人及び担い手へ農地を貸し付ける事業を進めております。</p> <p>④従来の10分の1の散布量で同様の効果のある製品が出ております。次年度さとうきび自然災害被害対策事業が発動されれば助成対象となるのか調整を進めております。</p> | 産業振興課 | 2903 |
| | 13 | 饒平名 智弘 | バス停の整備について | <p>本町のバス停の整備状況をどのくらい把握しているか。バス停には、雨風をしのぐつくりも整備を進めてほしい。</p> | 町長 | <p>町内のバス停は96箇所あり、上屋設置箇所が12箇所、店舗等の軒下を利用できる所が8箇所となっており、残り76箇所については上屋が未設置となっております。うち、建物や場所等の現況により設置困難な箇所が56箇所となっており、残りは20箇所となりますが、所によっては地権者から同意を得られず断念した箇所もあります。上屋設置の要望のあるバス停については、利用率の高いバス停や、設置する用地の同意が得られた所から優先に検討を行いますので、地域の協力を得ながら用地に目途がついた段階で事業申請を行いたいと考えております。</p> | 商工観光課 | 2903 |
| | 6 | 赤嶺 秀徳 | 航空運賃低減とダブルトラックについて | <p>私は、平成27年12月の議会就任以来定例会において、久米島・那覇間の航空運賃の低減とダブルトラックについて、幾度となく質問をして来たが、問題解決の兆しも何ら見えてこない。そこで2点について伺う。</p> <p>①航空運賃の低減に向けて平成28年中に行った活動とその進捗状況について伺う。</p> <p>②ダブルトラックについての進捗状況を伺う。</p> | 町長 | <p>平成28年度における航空運賃の低減に関する取組みについては、平成28年1月の沖縄県知事への要請以降、11月5日、12月21日には沖縄県議会、沖縄県に要請を行っております。その他、沖縄県担当課とも幾度となく事務協議等を重ねておりますが、「沖縄離島住民等コスト負担軽減事業」の性格上からも、なお時間を要する状況にありますので、引き続き運賃低減に向けて取り組んで参ります。</p> <p>次に、ダブルトラックに関しましては、平成28年3月に路線開設について訪問した航空会社に11月19日再度訪問し、路線開設について継続的に意見交換を行っております。久米島路線の利用状況及び環境においては、厳しい状況にあることから、観光誘客を図りながら利用実績を高めていきたいと考えております。</p> <p>ダブルトラック化については一朝一夕には進まない課題であることから、引き続き誘致に向けて取り組んで参ります。</p> | 商工観光課 | 2903 |

| 質問No | 議席番号 | 質問者 | 質問事項 | 要旨 | 答弁者 | 答弁内容 | 担当課 | 議会名 |
|------|------|-------|---------------|---|-----|--|-------|------|
| | 6 | 赤嶺 秀徳 | 後期高齢者訪問指導について | <p>高齢者の医療の確保に関する法律第125条第1項に、高齢者の心身の特性に応じ、健康教育、健康相談、健康診査及び保健指導等並びに健康管理及び疾病の予防に係る。被保健者の自助努力についての支援、その他被保健者の健康の保持増進のために必要な事業を行なうように努めなければならない。これは法律によって、後期高齢者医療広域連合に加されたものですが、訪問指導等については、町にも依頼があったと思います。</p> <p>①町内に居住する訪問指導対象者は何名か。 ②町の訪問指導員は何名か。 ③平成28年中の訪問実績は ア 1回目 イ 2回目 ④今後、指導員をどの様に確保していくのか。 以上4点について伺う。</p> | 町長 | <p>後期高齢者訪問指導事業については、本町でも受託しています。</p> <p>①町内の訪問指導対象者は93名です。 ②訪問指導員は町職員の保健師2名が兼務しております。 ③平成28年中の訪問実績は、1回目2名、2回目1名となっております。 ④今後の指導員の確保については、有資格者を後期広域連合へ推薦して個人と広域で委託契約を結んでもらう方法を考えております。</p> | 福祉課 | 2906 |
| | 7 | 仲村 昌慧 | 防犯対策について | <p>2017年度に限り、市町村などが街灯や防犯カメラを設置する費用を国が補助する新たな事業を設けている。 県全体で街灯を約1万台。防犯カメラ約250台を設置する方針である。本町でも街灯や防犯カメラを設置する予定があるか伺う。</p> | 町長 | <p>「防犯灯・防犯カメラ等緊急整備事業」が平成29年度に限って実施されることを受け、先日(2月14日)警察を交えて関係機関で協議を行いました。</p> <p>町では、27年12月に区長会から要請を受けた集落外防犯灯について、今事業で整備することを検討しております。</p> <p>防犯カメラの必要性についても警察とも協議しましたが、犯罪発生率や維持管理費用など、総合的に検討した結果、同事業での防犯カメラ設置は計画しないことと致しました。</p> | 総務課 | 2903 |
| | 7 | 仲村 昌慧 | 県道の補修について | <p>私は昨年、県道上江洲地区の方で、路面が沈下しているので補修をお願いした。担当課長は県に伝えてあるとの解答であったが未だに補修されていない。補修が遅れている理由は何か。何時補修するのか伺う。</p> | 町長 | <p>現場を調査した結果、公共下水道のマンホール周辺の沈下が原因であるため、上下水道課下水道班により見積を依頼しているところであります。</p> | 建設課 | 2903 |
| | 7 | 仲村 昌慧 | 山芋スープで活性化を | <p>本島中・北部地域で山芋スープが盛んになっている。特に、うるま市や読谷村では全島大会が開催されてすく盛り上がっている。</p> <p>本町でも山芋スープを推進して、地域を活性化してほしいが、町長の見解を伺う。</p> | 町長 | <p>県内では、うるま市・読谷村・恩納村で盛んに開催されているのが新聞等で見られます。各字区長などの要望等も確認し、11月16日の「いもの日」か12月の「産業まつり」で開催出来るか周知期間も含めて他市町村を参考に取組んで参ります。</p> | 産業振興課 | 2903 |

| 質問No | 議席番号 | 質問者 | 質問事項 | 要旨 | 答弁者 | 答弁内容 | 担当課 | 議会名 |
|------|------|-------|-----------------|---|-----|---|-------|------|
| | 3 | 平良 弘光 | 消防緊急援助隊への登録について | 本土における大規模災害に、本県からも緊急援助隊として消防職員が派遣されているが、本町消防本部の登録について | 町長 | 緊急消防援助隊は、平成7年1月に発生した阪神・淡路大震災を教訓に大規模災害等において、全国的な消防の応援体制を確立するため、消防組織法に基づき編成された消防部隊であります。沖縄県の登録状況については、久米島町消防本部を除く17消防本部から52隊が登録されています。昨年4月に発生した熊本地震においては、緊急消防援助隊沖縄県大隊として延べ12隊52名の隊員が出勤し現地で活動を行いました。近年、全国各地で大規模な自然災害等が発生している状況下、本町消防本部としても、その対応策の一つとして、緊急消防援助隊の登録に向けて、取り組んでいく必要があると考えています。 | 消防本部 | 2903 |
| | 3 | 平良 弘光 | かんがい施設の整備について | 字具志川、仲村渠、比屋定地区のかんがい施設について、カンジダムを活用することはできないか。 | 町長 | カンジダムのかんがい施設の活用について、現在、沖縄総合事務局及び県村づくり計画課と町全体的な水需給計画を国営事業か県営事業で導入できないか要請したところであります。3月13日に、沖縄総合事務局土地改良総合事務所長及び沖縄県村づくり計画課長が現場調査を兼ねて来島することになっているので、事業導入を促進していきたいと思えます。 | 建設課 | 2903 |
| | 3 | 平良 弘光 | スポーツ施設について | 平成28年度の施政方針に掲げた陸上競技場の整備状況について、平成30年度を目途に新規事業として、前向きに進めていきたいという答弁が有りました。現在の進捗状況は、 | 町長 | 翁長議員への答弁と同様な内容になりますが 現在、陸上競技場の基礎調査を実施し、進めています。報告書がまとまり次第、議員の皆様への説明会を開く予定であります。 | 企画財政課 | 2903 |
| | 3 | 平良 弘光 | 移住者が働ける環境整備について | 現在移住・定住アクションプランを策定中であるが、その部会の中で、移住者が定住する条件として、子育て世代の家族が安心して仕事をするには学童保育や病児保育などの環境整備は必要不可欠である。との意見があるが今後の取り組みは、 | 町長 | 子育て環境の整備については、町の総合計画や子ども・子育て支援事業計画の中でもその必要性が議論されて来ました。学童保育や病児保育についても保護者のニーズが有ることから、早急に取り組みなければならない事業だと認識しております。病児保育については、平成29年度中の実施に向けて調整を進めている所です。学童保育については、沖縄県が一括交付金を活用した施設整備を促進していることから、他市町村の事例も参考にしながら平成30年度実施を目標に取り組んでまいります。 | 福祉課 | 2903 |

| 質問No | 議席番号 | 質問者 | 質問事項 | 要旨 | 答弁者 | 答弁内容 | 担当課 | 議会名 |
|------|------|-------|-----------------------------------|--|-----|---|----------------|------|
| | 10 | 玉城 安雄 | 町道の整備について | 平成28年度に採択された比嘉2号線については、委託設計が発注され測量設計中ですが、工事内容を何うと車道のみ改修で歩道の改修は含まれていないとのことである。本路線はイーフ地区とつながる重要な観光道路で歩行者も数多く通る状況であるが、そこに至った経緯と当局の見解を伺う。 | 町長 | 比嘉2号線の採択の経緯について回答致します。平成26年当初要望時は、歩道も含めた改良で要望しましたが、設計基準条件である道路構造令において車道の改良の必要性(路肩が無い)は認められましたが、歩道においては基準(2.5m)を満たしているため認められず平成28年度事業採択ヒアリング時に①要望を取り下げるか?②車道のみを整備するか?判断を要求され、久米アイランドから県道久米島空港真泊線向けは左側は排水路及び路肩もないため、車道路肩(0.75m)を確保するため車道を片側3.0mで整備する事で合意し沖縄振興公共投資交付金事業(ハード)で採択されました。歩道整備については、別事業である防災・安全社会資本整備交付金事業でエントリーしたいと考えています。 | 建設課 | 2903 |
| | 10 | 玉城 安雄 | 道路認定について | 町道島尻1号線(近隣地番久米島西銭田原509-2)より農道銭田1号線(近隣地番西銭田原570-1)に抜ける道路(延長約600m)で、本路線区間ははまだ道路認定がされておらず未舗装のままである。大雨の時は常に、道路表面や路肩の土砂流出及び崩壊が発生し、その都度、町単費での応急的な補修や地権者による法面補修を行ってきたようである。本道路周辺には数か所の耕作地が点在し頻りに利用している道路でもある。故に早急に道路認定を行い、適切な事業を導入し表面舗装及び道路改良を行う必要があると考えるが当局の見解を伺う。 | 町長 | 当該道路は、銭田区長からも要請があり、現場を確認し路面及び路肩が崩れていたため、1月に補修を実施しました。議員の指摘のとおり道路台帳を確認したところ道路認定はされていません。本道路周辺を踏査したところ、耕作地が数カ所しか無いため補助事業の導入は厳しいと思われませんが、現在実施している農業基盤整備促進事業で整備可能かどうか県と調整したいと思えます。 | 建設課 | 2903 |
| | 10 | 玉城 安雄 | 自治会からの要請について(生活道路等の軽微な補修、清掃等について) | 自治会からは区長を通じて様々な要請があると思うが、その要請に対して、どのような体制で確認作業を行い対応しているか伺いたい。 | 町長 | 区長からの各種要望について、総務課で受けた場合には各担当課と情報共有し、担当課で受けた場合には、それぞれの課で対応しています。 | 総務課 | 2903 |
| | 9 | 棚原 哲也 | 銭田森林公園の整備について | 平成28年8月着工する予定だったが、6か月経過した今、着手されていない進捗状況は、 | 町長 | 公園整備については、昨年8月に既存管理棟の取り壊しなど一部敷地造成工事に着手しました。現在、下水等を含む排水路事業等の調整を行っており、昨年6月議会で答弁したとおり、2年以内の本体施設完成を目指してまいります。 | プロジェクト推進室 | 2903 |
| | 9 | 棚原 哲也 | 仲里総合運動場の整備について | 施設全体が老朽化し、又は破損した状態にある。早急に整備する考えはないか。 | 町長 | 仲里総合グラウンド管理棟は、町民のウエイトトレーニングに活用されていますが、昭和56年度に建築され築30年余を経過し老朽化しています。グラウンドにつきましては、平成23年度に整備を行っておりますが、水銀灯については、老朽化、台風被害等で破損している状態です。管理棟、水銀灯の整備については、多額の事業費が必要ですので総合グラウンドの利用状況、活用方法を精査しながら補助金対象となる事業を模索し検討していきたいと思えます。 | 環境保全課 企画財政課 | 2903 |

| 質問No | 議席番号 | 質問者 | 質問事項 | 要旨 | 答弁者 | 答弁内容 | 担当課 | 議会名 |
|------|------|-------|-------------------------------|---|-----|--|-----------|------|
| | 9 | 棚原 哲也 | 平成29年度施政方針の産業の振興の(5)交通の確保について | 航空路線、フェリー、町営バス等の取り組み方針について明記されているが、高速船の導入については検討されていないか。 | 町長 | 現在、沖縄県が実施する離島航路船舶建造支援に高速船は該当しません。しかし、町民等を対象にした平成28年度の高速船導入可能性アンケート調査では「必要・どちらかと言うと必要」の意見を合わせると回答者の約9割が高速船は必要であるとの結果が出ていますので、国・県に対しては他離島町村と連携して高速船に対しても建造支援が受けられるように働きかけてまいります。 | プロジェクト推進室 | 2903 |
| | 9 | 棚原 哲也 | 海洋深層水揚水施設について | 増設の目処はついているか。 | 町長 | 海洋深層水取水管増設につきましては、本町をはじめ国際海洋資源エネルギー利活用推進コンソーシアムを中心に、国・県・関係機関へ事業導入にむけ働きかけを行っているところですが、増設については、その前提となる経済性の調査を29年度に国事業として行う予定です。 | プロジェクト推進室 | 2903 |
| | 9 | 棚原 哲也 | 日台及び日中漁業協定について | ①日台漁業協定は操業海域が日本のEEZ(排他的経済水域)内にあるにもかかわらず台湾側優位に結ばれた協定であり安全操業を確立する上で抜本的な見直しが必要である。 ②日中漁業協定は、中国側漁船が操業できる水域を大幅に拡大して締結された協定であり、EEZ内の漁業資源及び鉱物資源を保護する為、破棄する必要がある。両協定について取り上げて行動する考えはあるか。 | 町長 | 日台漁業協定・日中漁業協定につきましては、平成29年2月に「沖縄県知事」「沖縄県漁業協同組合連合会」「沖縄県漁業協同組合長」の連盟で「外務大臣」「農林水産大臣」「水産庁長官」に対して日台漁業取決め及び日中漁業協定の見直し等を求める要請を行っております。今後、町として必要に応じて関係機関と連携して参ります。 | 産業振興課 | 2903 |

| 質問No | 議席番号 | 質問者 | 質問事項 | 要旨 | 答弁者 | 答弁内容 | 担当課 | 議会名 |
|------|------|------|----------|--|-----|--|--|------|
| 2 | | 盛本 實 | 施政方針の中から | <p>町長就任4年目、第2次総合計画2年目を迎える平成29年度は町行政、町民にとっても大事な節目の年だという事をお互いに認識したうえで、施政方針の中から4点ほど質問します。</p> <p>①自然資源を利用したまちづくり「久米島モデル」の実現を、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の核となる重要プロジェクトとして位置づけ、平成29年度も引き続き「国際海洋資源・エネルギー利活用コンソーシアム」と密接に連携しながら各種関連施設を推進するとの事であるが、具体的な施策について伺う。また、今年度は産業面の交流を実施するとの事であるが、具体的に交流内容について伺う。</p> <p>②海洋深層水関連事業において、海洋深層水関連商品の「ふるさと名物応援宣言」を行い、ブランドの育成・強化を図っていくとの事であるが、具体的な内容を伺う。また、近年新たな商品開発は進んでいるのか、新規企業の参入はあるか伺う。</p> <p>③人口減少対策として、移住定住促進窓口「久米島 島暮らしコンシェルジュ」を昨年6月より設置していますが、具体的な事務内容・これまでの取組及び今後の取組について伺う。</p> <p>④久米島高校廃科問題の解決策として「久米島高校魅力化事業」を立ち上げ、その一環として3年前から離島留学生の受け入れております。更に町行政においては、久米島町地域学習センターを設置し多くの留学生の受け入れが可能となり、同廃科問題も沈静化の様相を呈してきており、我々PTAや地域の方々も安堵しているところであります。このことは県内外からも高く評価されており、今後の久米島町の動向が注目されているところでもあります。そこで質問です。現状の推移からすると今後も留学希望者が増えると想定されるが、受け入れについての対策は考えているのか。学習センターの維持コストの財源確保はどの様な方法で行っていくのか伺う。</p> | 町長 | <p>①「久米島モデル」につきましては、本町をはじめ、国際海洋資源エネルギー利活用推進コンソーシアムを中心に、事業のメインとなる「10万トン取水管敷設」実現に向けて取り組んでおりますが、29年度は経済性等の調査を実施する予定です。</p> <p>産業交流につきましては、国際海洋資源エネルギー利活用推進コンソーシアムが主体となってハワイ島コナで海洋深層水を利用した水産養殖業者招聘事業を平成29年度に実施する予定です。</p> <p>②「ふるさと名物応援宣言」は、中小企業地域資源活用促進法に基づき、中小企業庁が地域資源を活用し、ブランド創出の取り組みを促進するため、市町村において「ふるさと名物応援宣言」を行い、情報発信を行うことにより地域資源活用事業計画の補助金においての優先採択や人材育成事業への優先参加、中小企業庁支援サイトでの情報発信といった優先措置が受けられる制度であります。久米島海洋深層水を利用した商品・サービスをふるさと名物とすることで、現在取り組んでいる久米島モデルにおける海洋深層水の多段階利用にかかる新規事業の推進に繋がるものと思っております。</p> <p>・既存品以外の新たな商品開発、企業参入については、現在、栽培実験中の牡蠣陸上養殖や海洋由来乳酸菌を活用した美白化粧品品の開発が進んでいます。また、島外企業等からは夜光貝の養殖、海藻の陸上養殖での参入要望もありますが、取水量が足りなくなる状況も考えられることから取水管増設の目処が立つまで待っていただいている状況です。</p> <p>③ご質問のとおり、今年の6月より地域おこし協力隊制度を活用し、3人を嘱託職員として採用し、移住・定住の推進に努めています。業務内容としては島内にある「しごと」「住まい」「くらし」など、移住・Uターンに必要な情報を収集し、HPやSNSで発信しております。また、メール、電話、窓口、首都圏での移住フェア等での相談にワンストップで対応しています。又、住民44人、外部有識者5人で構成された「久米島町移住・定住推進アクションプラン策定委員会」で今後の移住・定住推進における方向性や住民・行政で協力して取り組んでいく具体的な計画について協議しています。</p> <p>④新年度の寮生は新入生を13名想定していて22名となる予定です。現在の状況での収容人数は24名ですが次年度に向け、空き部屋も活用する予定ですので30年度は14名の受け入れ可能と考えております。維持コストの財源確保については赤字運営ではありますが目に見えない波及効果が出ていることはご理解頂きたいと思っております。今後の財源確保については課内でも模索中であります。</p> | <p>①プロジェクト推進室 ②商工観光課 ③企画財政課 ④企画財政課</p> | 2903 |